



# SMTB年金ニュース

(平成24年4月9日)



三井住友信託銀行 年金コンサルティング部

## 【厚生年金基金】

### 「厚生年金本体の平成23年度運用利回り」の予測値について

平成23年度の厚生年金本体利回りは、以下のとおりと推計いたします。

『2. 2%前後』（弊社予測値）

(ご留意事項)

年金積立金管理運用独立行政法人の公表している運用状況、ベンチマーク収益率等を加味し、弊社において推計しております。推計値のため、実際の値と異なる可能性があります。予めご承知置きくださいますようお願い申し上げます。

なお、前年通りであれば、「厚生年金本体の平成23年度運用利回り」は、8月上旬頃に公表される見込みです。

本メールまたはファックスが、万一誤ってご登録先以外の方に着信した場合には、お手数ですが下記担当部署までご連絡下さいます様お願い申し上げます。

担当部署 : 三井住友信託銀行株式会社 年金コンサルティング部

電話番号 : 03-6256-3624 または 03-5232-8196

●継続基準について

「厚生年金本体の平成 23 年度運用利回り」は、平成 23 年度における厚生年金基金の最低責任準備金（継続基準）算定のための付利利率になります。

「厚生年金本体の平成 23 年度運用利回り」公表前にご報告する平成 24 年 3 月末財政決算の仮報告では、この付利利率に弊社予測値 2.2%を使用します。

●非継続基準（回復計画）について

回復計画の策定における最低責任準備金の将来予測に用いる利率は、原則として「厚生年金本体利回りの過去 5 事業年度の実績の平均（ただし、当該平均が零を下回る場合にあっては、当該実績に基づき合理的に見込まれる率）」または「厚生年金保険法第 2 条の 4 第 1 項に規定する財政の現況及び見通しにおける運用利回りの前提」のいずれか小さいものを下回らないものとしてとされています。

厚生年金本体利回りが弊社予測値の場合、過去 5 事業年度の実績の平均は零を下回る（マイナス 0.18%前後）ことが想定されますが、その場合は、零を上回る率を基金が実績に基づき合理的に見込み、指定年金数理人が評価した結果を所見に記載することとされており

（参考：最低責任準備金（継続基準）の付利利率）

H11 年度	3.62%
H12 年度	3.22%
H13 年度	1.99%
H14 年度	0.21%
H15 年度	4.91%
H16 年度	2.73%
H17 年度	6.82%
H18 年度	3.10%
H19 年度	△3.54%
H20 年度	△6.83%
H21 年度	7.54%
H22 年度	△0.26%
H23 年度	2.2%前後(予測値)

●H19 年度～H23 年度の平均： △0.18%前後(過去 5 年平均)

以上